

新企画



オモハラ  
みんなの  
フォト  
アルバム



Start from Autumn, 2024

# オモハラ みんなの フォト アルバム

とは

「オモハラみんなのフォトアルバム」は神宮前・南青山・北青山の思い出写真を皆様から集めさせて頂き、ひとこと思い出エピソードを添えたウェブフォトアルバムです。

初めて遊びに来た日や家族との思い出、日常のささいな出来事から七五三や進学、上京をはじめとする節目、お店をオープンした日など、いろいろな人がこの街で体験したことをこの街の思い出として残していきます。



画像協力：「東京おとなガレージ」昭和の残像／昭和55年・原宿



# なぜ始めるか

この街はいつの時代も人々を魅了しています。

多くの人たちが海外から訪れ、  
日本の地方からも憧れと期待を胸に訪れる。  
もちろん、生活の拠点とする人もいれば、  
この街で商売や仕事をする人も多くいます。

ローカルメディアである、OMO HARAREAL は、  
そんな、様々な人たちのこの街での思い出を、  
世代や時代も超えて集めてみたい。  
そう考えました。

複雑に変化していくこの街を捉える上で、  
OMO HARAREAL が大切にしたいのは、  
みなさんの中にある“オモハラ”。  
それは、みなさんが体験した思い出や経験こそが、  
この街そのものだと考えているからです。



1972（昭和47）年の原宿・竹下通り





# 本企画が行いたいこと

ローカルメディアとして、いろいろな人の思い出が詰まった  
**街のフォトアルバム** をメディア内に作りたいと考えています。



画像協力：「東京おとなガレージ」昭和の残像／昭和55年・原宿

現代においては、スマートフォン、インターネットなどの普及によって、数年前の写真や出来事の情報を得ることは容易くできます。しかしながら、昔の写真やこの街で起こった出来事の多くはインターネット上にも掲載（2015年以前）が殆どなく、人の記憶の中にしか存在していないことが多い状況です。

その為、みなさまにご協力いただき、街のためのフォトアルバムを作ることで、現在の表参道・原宿だけではなく、それぞれの時代のリアルな思い出や空気感を伝えていきたいと考えています。

そうすることにより、この街を利用していた方、利用している方、これから訪れる方々がもっとこの街を味わい深い場所と感じ、この街で過ごす時間を楽しんでいただける、過ごす時間を大事にさせていただききっかけ作りができればと思っています。





# ご協力いただきたいこと

## ①思い出の写真のご提供と サイトへの掲載許可

※写真はデータとして利用させていただきますので、写真そのものはお戻しいたします。データでのご提供も可能です。  
※住所地が神宮前、南青山、北青山のものに限らせていただきます。

## ②お話を伺う (簡単なインタビュー)

ご提供いただいた写真についてのエピソードや、昔のお話を伺わせていただきます。  
※ アンケートへのご記入でも対応可能です。

## ③このエリアでお話を 伺える方のご紹介

必須ではございません。  
もし、あの方ならもっと詳しくお話をお聞きできるなど、ご紹介いただける方がいらっしゃいましたらご協力いただけると幸いです。



画像協力：波多利朗の funkygoods

# ページ掲載例 (横画像)

## 項目

- ① 年代
- ② 年月日 ※ご記憶にあれば
- ③ 写真タイトル
- ④ 思い出話 (100 字ほど)
- ⑤ ご提供者 ※愛称可
- ⑥ URL (店舗様の場合その URL 個人の方の場合 SNS など)

OMOHARAREAL

ALBUM

懐かしの竹下通り商店街

# ART

オモハラみんなのフォトアルバム No.001 (2024/08/21)

① 年代 : 1970年

② 年月日 : 1972年1月1日 (土曜)

③ タイトル : 1972年、懐かしの竹下通り商店街

④ 思い出話 :  
 上京して真っ先に向かったのは、ここ竹下通りでした。文化的な匂いのする街並みに心が躍ったのを、昨日のように思い出します。全てが新鮮で、目当てのものなんてなくてもただ歩いているだけで楽しかった。間違いない私にとって東京での生活のはじまりです。

⑤ 提供者 : ●●●●●

⑥ URL : (店舗の場合そのURL・個人の場合SNSなど)

OMOHARAREAL

ABOUT MAP SEARCH CONTACT SEARCH

RANKING WEEKLY

HOME > REAL NAVI > ALBUM > 懐かしの竹下通り商店街

ALBUM 懐かしの竹下通り商店街

# ART

18歳の若手アーティスト・KENNYによる初展がワタリウム美術館地下1階で開催 社会問題に切り込む

2

INTERVIEW

「I'm donut?」。「アイムドーナツ?」。「AMAM DACOTAN (アムムダコタン)」のオーナーシェフが語る、表参道・原宿と行先の理由

3

話題のお店

【表参道 話題 ランチ】串カツ屋新 押さえておきたい話題のランチ店まとめ

オモハラみんなのフォトアルバム No.001 (2024/08/21)

① 年代 : 1970年

② 年月日 : 1972年1月1日 (土曜)

③ タイトル : 1972年、懐かしの竹下通り商店街 (仮)

④ 思い出話 :  
 上京して真っ先に向かったのは、ここ竹下通りでした。文化的な匂いのする街並みに心が躍ったのを、昨日のように思い出します。全てが新鮮で、目当てのものなんてなくてもただ歩いているだけで楽しかった。間違いない私にとって東京での生活のはじまりです。

⑤ 提供者 : ●●●●●

⑥ URL : (店舗の場合そのURL・個人の場合SNSなど)

4

OMOHARA SUMMER VACATION ART EXHIBITION

【2024お盆休み・開催】夏のオモハラ イベントガイド ワタリウムやエスバスルイ・ヴィトン アート探訪編

名前のわからないもの展

LINKNOWN HARA.IJKUでメルカリの体験型施設「名前のわからないもの展」



最後に

表参道・原宿はいつの時代も“語りたくなる街”であると私たち編集部は考えています。

年代を問わず街の人たちに当時の話を聞けば、その表情はイキイキとしながら、まるでつい最近起こったことのようにエピソードを私たちに話してくれます。

その時、知らなかった街の側面や歴史に驚き、まるで私たちもその場面にいたかのような、ワクワクと温度感のある思い出を受け取ることができます。その時代を同じく過ごした人にとっては、きっと「その時その場所にいた!」「そうだ、ここにはこれがあったな!」という共感だったり、自分が生まれる前の話だったら「いいな、楽しそうだな、うらやましい!」と純粋に心を動かされるはず。

そんな風に語りたくなるエピソードが、この街にはあふれています。だからこそ、写真を切り口にエピソードや思い出を集めて記録し、語り継いでいく。そうすることで街の人、街を訪れる人たちの世代をも超えた新しいつながりが生まれるのではないかと考えています。将来的にはリアルな場での展覧会やイベントなど、開催するのも一つの夢です。

この街に思い出がある人たちによる、街のための“フォトアルバム”を一緒に作りませんか？

何卒、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

OMOHARAREAL 編集部 一同